

紅葉台の近くに湯殿川があります。毎年この川にホタルが舞います。主に上館公園近くの木々がこんもりしたところ。また、少し下流のトヨタ自動車学校のある境橋のあたりが良く出ます。6月7日は「ほたるのゆうべ」がありました。地元の方たちが雑草を刈り、ちょっとしたお店も出て、蛍が住めるようなきれいな川にしようと呼びかけています。

紅葉台



新聞

第244号
2026年
7月25日
発行人：関谷 孝

粕谷和夫の観察日記



カケスです。八王子市の鳥オオルリの生息数調査を、オオルリが八王子市の鳥に制定された翌年の1992年以降、毎年実施しています。今年で35目となりました。残念ながらオオルリの羽数が減少傾向にあることが毎年の羽数カウントで明らかになっています。5月8日、私の調査担当地域（醍醐林道）を調査しました。この日オオルリは0羽でした。カラスの仲間で留鳥のカケスが林道のガードレールに止まってポーズをとっていました。



5月8日の醍醐林道でのオオルリカウント調査ではオオルリに出会えませんでした。5月10日、小下沢林道で開催した「オオルリを探す会」では、オオルリの姿を比較的近くでとらえることができ、多くの参加者に満足してもらいました。帰路、林道脇で管楽器のサックスのような、変わった形の花・**オオバウマノスズクサ**の花の写真を撮ることができました。内部の紫褐色の縞模様は、血管を連想させ、食虫植物を思わせる姿ですが、食虫植物ではありません。ジャコウアゲハ（麝香揚羽）の幼虫の食草として有名です。



NPO やまぼうし自然学校が主催する「都内森めぐりコース」、5月は12日に新宿御苑で開催され森林インストラクターから多くのことを学びました。その内の一つ、**ユリノキ**と**シナユリノキ**が開花していました。アメリカ由来のユリノキ（写真上）はチューリップツリーといわれますが、正にチューリップの花のようでした。中国由来のシナユリノキ（写真下）は今まで見たことが無く、初めの出会いで、ユリノキに比べると葉も花もやや小さめで、花色は緑がっていました。



前日の新宿御苑でユリノキを見たNPO やまぼうし自然学校が主催する「都内森めぐりコース」での出合、第2弾です（5月12日）。**ハンカチノキ**がありました。たくさんの白いハンカチがつり下がっているような花が咲く珍しい樹木ですが、今年は既に花が終わっていました。しかし、地面に**実**が落ちていました。昨年の花の実と思いますが、クルミより大きめで、とても硬くて重い実です。人の手では割ることができません。

ムクドリやカラスなどは時々この実を食べるという説明がありました。

埼玉県内最大級の棚田と言われる秩父横瀬の寺坂棚田



を歩いてきました（5月13日）。田植えが終わっている田んぼと代掻き中の田んぼがあり、代掻き中の田んぼにはトラクターの後にムクドリ多数が集まって採餌していました。今年は12年に1度の秩父34観

音の御開帳の年、棚田近くの法長寺7番札所、ト雲寺6番札所、9番明智寺も訪ねました。法長寺の前の民家の庭では**ナンジャモンジャ**が満開になっていました。

ちよっと気になる 本の紹介

本屋さんに立ち寄ると、今話題の本が目にとまります。高齢者にとって毎日元気に楽しく過ごすことは何よりの関心事です。

そこで、2冊関連のある本を見付けました。

1. 「棺桶まで歩こう」

萬田緑平著 医師。緩和ケア萬田診療所院長。題名が不謹慎のようですが、「人間は、歩いている限り死にません」なぜなら、歩くために必要な力は「根性」と「気力」・・・頭がしっかりしている証拠でもあります。スタスタと歩ける人は、おおむね10年以上生きられる。椅子から腕の力を使わずに立ち上がれる人は、余命1年以上。だから歩くことが健康寿命を延ばします。「延命より満足を」「治療より尊厳を」と提唱しています！！詳しいことは活字も大きく読みやすいのでぜひ手に取ってみてください。



2. 「多摩チルさんぽ」

風そよぐ森と街をゆるく歩こう。

Google マイマップ付。チルは、「リラックスする」「くつろぐ」という意味の英語のスラング。多摩エリアのア散歩コースです。日常の先にある小さな嬉しい発見や驚きを楽しもうというコンセプト。中央線・青梅線五日市線・京王線・西武線・小田急線沿線からのとっておきの散歩コースが紹介されています。特にいいなと思ったのは、地元民の口コミ。散歩コースのスポット。カフェやごはんどころ等見どころが盛りだくさん。ビュースポット、富士山ビュー。ベンチ、トイレまで中高年に寄り添った内容です。



これなら天気の良い日にお出かけしてみようかなと思ったりします。散歩しながら歩く楽しさをこの本で見つけてみませんか。歩くことは健康への第一歩ですね。

紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。